

【日本弁理士会 知財ビジネスアカデミー講座】(オンライン)

経営層と「戦略」について円滑に議論するための知識

～経営学・マーケティング論の基礎と知財の関係性～

	担当 講師	・担当講師 杉光 一成(すぎみつ かずなり) 金沢工業大学大学院イノベーションマネジメント研究科教授 医学博士・工学博士・弁理士
実施日程	2026年11月 6日(金) 13:00～16:15 ※本講座は Zoom によるオンライン講座として実施します。	
受講料	全1回: 会員5,000円、非会員10,000円(税込)	
概要 ねらい	もしかして経営層に「知財語」を普段話していませんか？経営層には「知財語」を話せば話すほど尊敬されると思ったら大間違いです。本来は大事な議論が、経営マターという大きさではなく、細かく小さな専門的な知財マターと誤認され、経営層の関心が薄くなり、結果的に特許出願などの予算は中長期的には削減され、その企業からの仕事の依頼はだんだんと減っていくことでしょう。 経営層は当然のことながらビジネスの基礎(特に経営学(主に経営戦略論)・マーケティング論)を実践あるいは研修等を通じて知っており、主にそれらを基礎として経営判断を行っています。 経営層が「腹落ち」するコミュニケーションをするためには、経営層との「共通言語」となるこれらの知識を理解し、それらの用語を用いる必要があります。これら3つは通常はビジネススクールなどで学ぶものです。 講師は、社会人ビジネススクールでMBAの学位を実際に付与し、最近では各著名企業の経営会議で経営層向けに講演を行っている実績・経験を積んでいます。 そこで、本セミナーでは、経営層がどのような思考プロセス・価値観で経営・事業判断を行っているのか、その考え方の基礎を理解できるよう、相互に密接に関係する経営学・マーケティング論の根本理念・基本概念・基礎理論をわかりやすく紹介しつつ、それらと知財が具体的にどう関わるのかを解説します。 なお、ピーター・ドラッカーと並び、経営学の世界で神様とされているフィリップ・コトラー博士から推薦文を得ている講師の書籍「マーケティングの最強ツールは知財である」(中央経済)の内容を踏まえつつも、そこに新たな内容も盛り込む予定です。	
内容 (予定)	1. 経営学(経営戦略論)パート 経営戦略 マクロ環境分析と知財 ミクロ環境分析と知財 全社戦略と知財	

	事業戦略と知財 SCP 理論と知財 RBV 理論と知財 標準化と知財 オープン＆クローズ戦略 2. マーケティング論パート マーケティングの究極目的 マーケティングと知財の共通点 セグメンテーションと知財 製品戦略への知財活用 潜在ニーズ発見の手法 ブランドと知財 IP ランドスケープ 3. 会計・ファイナンスパート 経営層の価値観 会計とファイナンスの関係 管理会計と知財 4. その他
参考図書	・「マーケティングの最強ツールは知財である」（2024 年 中央経済社） ・“Intellectual Property as a Marketing Tool”（論文） http://www.ipaj.org/bulletin/pdfs/JIPAJ13-3PDF/13-3_p004-014.pdf
講師 略歴	◆杉光 一成氏(金沢工業大学大学院教授・弁理士) 東京大学大学院(法学)修士課程修了、東北大学大学院(工学)博士後期課程修了。東京慈恵会医科大学大学院は博士課程修了。工学博士、医学博士。電機メーカー知的財産部、特許事務所、経済産業省「産業競争力と知的財産を考える研究会」委員等を経て、現職に至る。保有資格として、弁理士、主な著書(編著・共著含)として「意匠法講義」「知的財産法を理解するための法学入門」、「知的財産管理＆戦略ハンドブック」などがある。日本工業所有権法学会正会員、著作権法学会正会員、日本知財学会正会員、日本マーケティング学会正会員、日本弁理士会会員。社会的貢献として、経済産業省委託事業(平成 17 年、平成 18 年)「知財人材のスキルの明確化に関する調査研究」リーダーとして「知財人材スキル標準」を開発、参議院・経済産業委員会調査室・客員研究員(平成 18 年 9 月～平成 19 年 3 月)、知的財産教育協会・専務理事(平成 17 年～現任)、東京大学未来ビジョン研究センター・客員研究員(シニア・リサーチャー)等がある。2008 年 6 月には(財)機械産業記念事業財団の第 1 回知的財産学術奨励賞において会長大賞、2009 年 4 月には経済産業省から「知財功労賞」(特許庁長官表彰)をそれぞれ受賞。
注意事項	本講座は、日本弁理士会の「継続研修」の単位認定対象講座です。(3単位)

◆お申込みについて

- ・ 申込期限：2026 年 10 月 16 日（金）正午
- ・ 申込方法：次の申込フォームからお申込みください。

▶ 申し込みフォーム

<https://form.run/@jpaa-ipba>

◆ご注意ください

- ・ お申込みにあたっては、**受講規約を事前にご確認ください。**
- ・ お申し込みをもって、規約内容に同意したものとみなします。

▶ [受講規約（PDF）](#) 別のページが開きます。